

20歳を過ぎたら

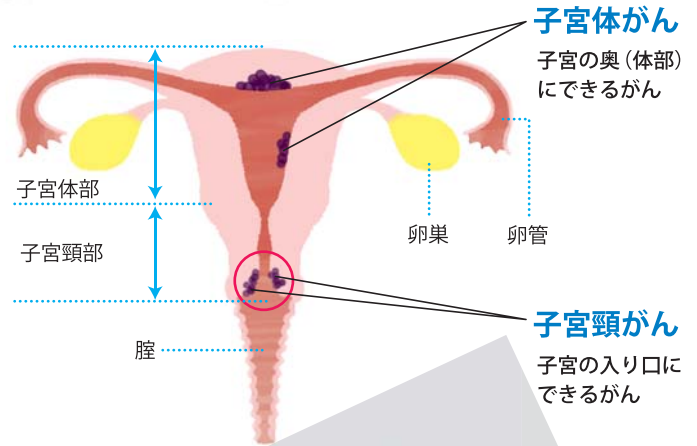
あなたの子宮
は大丈夫？

子宮頸がん検診を受けよう

監修：対馬ルリ子先生 対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座院長 産婦人科医・医学博士

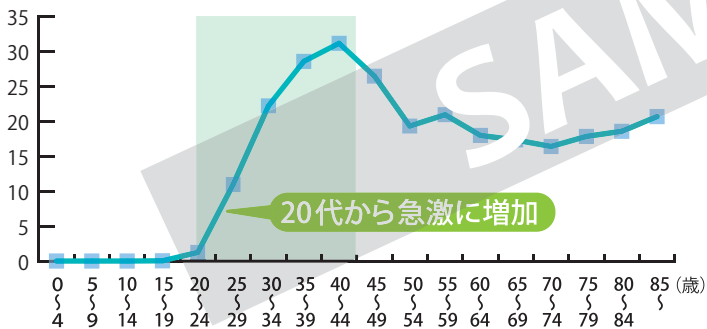
子宮頸がんは20代から急増中。 若いからといって油断はできません

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんの2つがあります。子宮体がんの発症のピークは50代。一方、子宮頸がんの発症のピークは30代～40代で、患者数は20代から急激に増えていきます。若いから大丈夫と安心してはいられません。



子宮頸がんは20代の女性のかかるがんの第1位です

年代別子宮頸がんの罹患率(2010年)
(人口10万対)



出典：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

子宮頸がんはセックスで感染するがん。 誰もがかかる可能性があります。

子宮頸がんの主な原因は、性的な接触でうつるヒトパピローマウイルス (HPV)。HPVは性体験のある女性の約8割が一生に1回はかかるごくありふれたウイルスです。HPVの中で将来がんになる可能性のあるのは、ハイリスク型と呼ばれるタイプ。ハイリスク型に感染しても多くの場合、その人のもつ免疫力によって排除されて、2年以内に自然に消滅してしまいます。ところが約1割ほどの人は、HPVを排除できず持続的に感染してがんへと進行します。

早期がんの段階ならほぼ100%治癒します

子宮がんは最初はほとんど症状がなく、早期発見は検診が唯一の手段。定期的に検診を受けていれば、がんになる前の前がん病変やごく初期の段階で発見できます。早期の段階で治療すれば手術でほぼ100%完治し、妊娠も可能です。

少し勇気がいるかもしれないけれど
唯一予防できるといわれて
いるがんが子宮頸がんです。
ご自身のため
ぜひ受けましょう。





～子宮頸がん検診で行うこと～

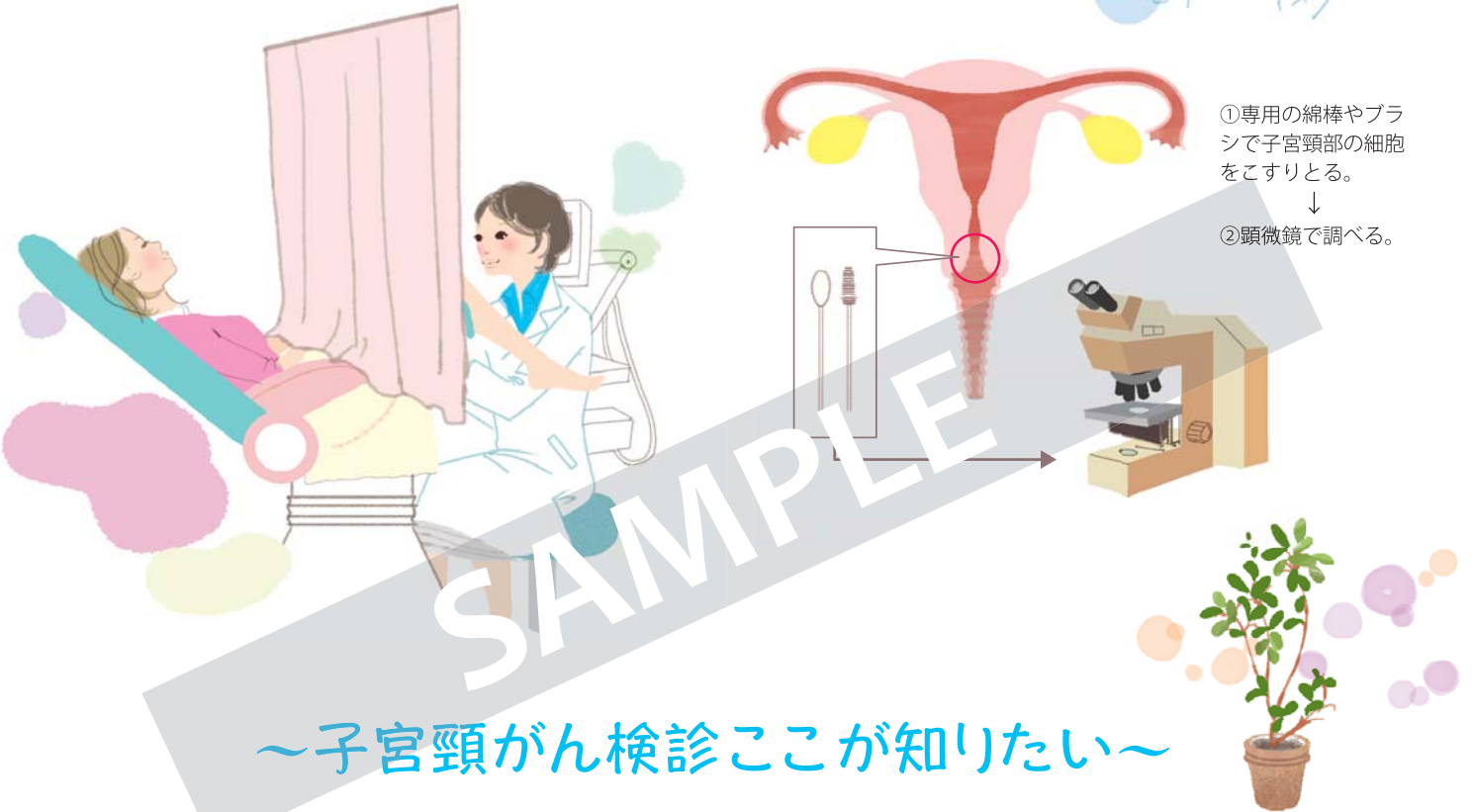
検査そのものは
5分程度で
終わります。

頸部細胞診

子宮頸部（子宮の入り口）を専用の綿棒やブラシなどで軽くこすって細胞を採取。採取した細胞を顕微鏡で見て、異常な細胞を見つけます。

内診

膣内と子宮の入り口の状態をチェックします。次に膣の中に入れた指とおなかの上に置いた手で、子宮や卵巣のかたさや向き、周辺の痛みなどを調べる診察です。



- ①専用の綿棒やブラシで子宮頸部の細胞をこすり取る。
- ↓
- ②顕微鏡で調べる。

～子宮頸がん検診ここが知りたい～

Q 検査は痛いの？

検診用のブラシや綿棒で子宮の入り口を軽くこすって細胞をとるだけの簡単な検査です。少し違和感があるかもしれませんが、痛みはほとんどありません。

Q 生理中に受けてもいい？

生理中は必要な細胞が十分に採取できないこともあるので、原則として避けてください。ただし、経血が少量の場合は採取できることも。スタッフに相談してください。

Q 検診前に膣の中を洗ったほうがいいの？

膣内を洗浄しすぎると、正しい検査ができなくなることがあります。入浴やビデなどで膣内を洗わずに自然な状態で検診を受けてください。検査前日の性交も避けます。

Q 内診台に上がると緊張してしまう

体が緊張すると膣が狭くなって、かえって痛みを感じる場合があります。息を吸って、口からゆっくり吐く腹式呼吸を行うと力も抜けてリラックスできますよ。

Q 検診結果が「異常なし」なら安心？

検査結果が「異常なし」であっても、将来的に子宮頸がんが引き起こされる可能性がゼロではありません。検査後あらたに感染する場合があります。年に1回は定期検診を。

Q 要精密検査の通知が、がんでしょうか？

精密検査を受けて、実際にがんと診断される人は少数です。要精密検査＝がんではありません。不安な気持ちを持ち続けられないためにも、必ず精密検査を受けましょう。